

第59期 株主レポート

第2四半期

OKADA Report

平成29年4月1日 ~ 平成29年9月30日

オカダ アイオン 株式会社

証券コード：6294

株主の皆様へ

Top Message

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産・輸出の拡大により企業収益や雇用所得環境の改善が続く中、個人消費も持ち直し総じて緩やかな回復基調の中にありました。また、世界経済は先進国・新興国共に回復基調が持続する一方、米国トランプ政策の動向や地政学リスク等の不透明感が残る状況が続きました。

このような環境のもとで当社グループは、主力商品の圧碎機、油圧ブレーカ、環境関連機器の販売に注力しました結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高6,742百万円（前年同期比7.4%増）と増収を確保。また、利益面でも、営業利益705百万円（前年同期比30.2%増）、経常利益710百万円（前年同期比30.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益410百万円（前年同期比23.5%増）と増益を確保し、通期ベースで8期連続増収かつ過去最高売上・利益達成に向けて順調に推移しています。

一方、本年10月2日には、株式会社南星機械、株式会社南星ウインテック、暁機工株式会社の南星機械グループ3社を経営統合いたしました。今後は両グループ相互の技術力の融合や人材の協働により新たな事業領域の拡大に挑んでまいります。

引き続きグループ一丸となり更なる業績発展に向けて鋭意努力してまいります所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

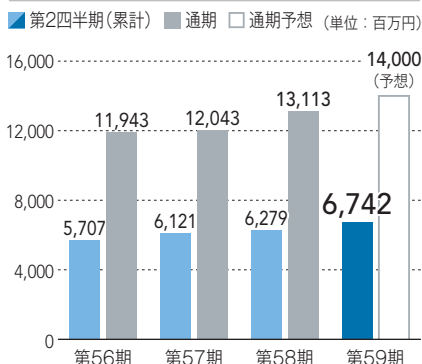


代表取締役社長 菊田 俊幸

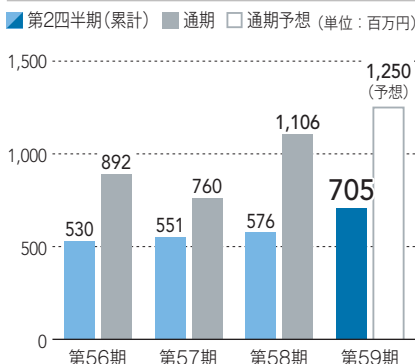
財務ハイライト

Financial Highlights

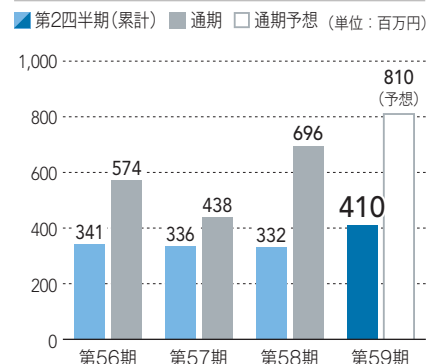
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



セグメント別・品目別の概況



補材、修理 1,001百万円

協力工場体制整備等により売上増

▶ 部品各種

消耗品である部品には品質にこだわった純正パーツを多種揃えています。



環境関連機器 489百万円

バイオマス発電向けなどの設備需要はあるものの、納期ずれ等により売上減

▶ 木材破砕機「ログバスター」

木質バイオマス発電に必要な燃料チップを間伐材などの未利用材から作ります。

その他 552百万円

その他アタッチメント売上

2,726百万円

圧砕機

再開発・耐震建替需要が堅調により売上増

▶ 大割機

「TSRCクラッシャー」

鉄骨構造（S構造）、鉄筋コンクリート構造（RC構造）、鉄骨鉄筋コンクリート構造（SRC構造）など多様で過酷な解体現場で活躍します。

▶ 小割機

「コワリクン」

標準モデルに加え鉄筋吸着機能が付いたマグネットコワリクンも人気モデルです。

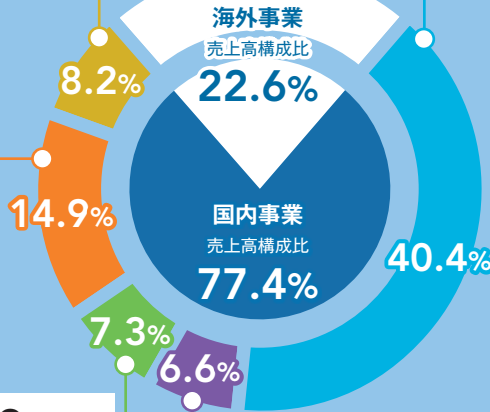
448百万円

油圧ブレーカ

戦略商品投入やレンタル業者の需要回復により売上増

▶ 新型「TOPVシリーズ」

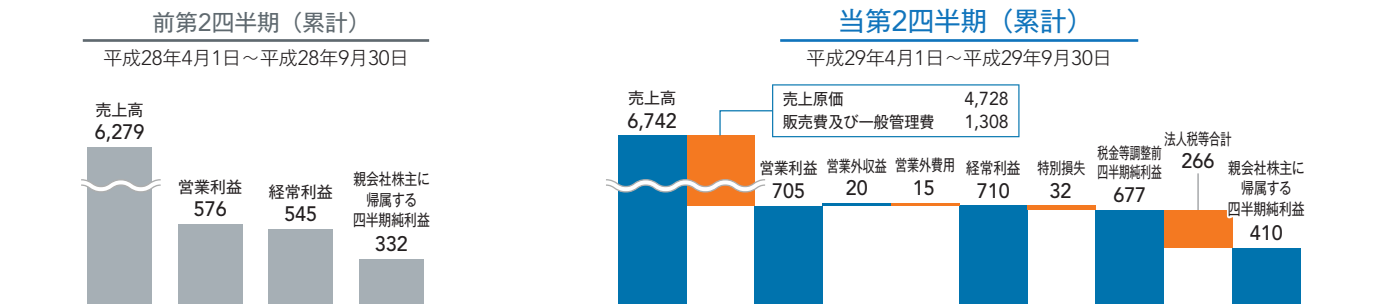
デザインを一新かつメンテナンス性を向上させた低騒音油圧ブレーカです。



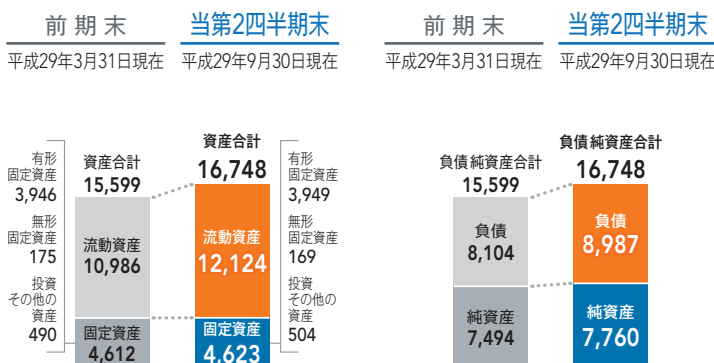
連結財務諸表（要約）

Consolidated Financial Statements

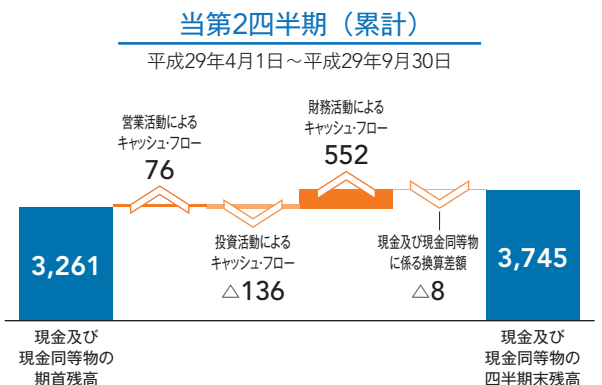
四半期連結損益計算書（単位：百万円）



四半期連結貸借対照表（単位：百万円）



四半期連結キャッシュ・フロー計算書（単位：百万円）



※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



3社をグループ化

当社は平成29年10月2日、熊本県に本社を置く「株式会社南星機械」「株式会社南星ウインテック」「暁機工株式会社」(以下、「南星機械グループ」)の発行済株式の全てを取得し、子会社化を完了いたしました。

「南星機械グループ」はグラブプル等の林業機械をはじめ、鉄リサイクル業者向けスクラップローダ、ダム建設や送電線工事向けのケーブルクレーン等において高いシェアを有しています。特に林業分野においては、当社はこれまで木材を破碎、チップ化

する大型環境関連機器等を販売してまいりましたが、南星機械グループの商品ラインアップが加わり、今後はグループで伐採から集材、チップ化までの一気通貫の対応ができるようになりました。

当社グループと南星機械グループ双方のバリューチェーンの課題を補完すると共に、強力なシナジー効果を発揮して、より高い水準での商品・サービスを提供してまいります。

南星機械グループ

株式会社南星機械

グラブプル等の林業機械、スクラップローダ、車載・船用クレーン等の設計、製造、販売



株式会社南星ウインテック

ウインチ、索道、ケーブルクレーン等の設計、製造、販売、工事受託



暁機工株式会社

産業機械用の機材及び部品、工具の販売



オカダアイオングループ

株式会社
オカダ アイオンテック
Okada America, Inc.

・販売力
・メンテナンス体制

シナジー効果を期待

南星機械グループ

・林業等の商品ラインアップ
・生産体制

株式会社
南星機械
株式会社
南星ウインテック
暁機工株式会社

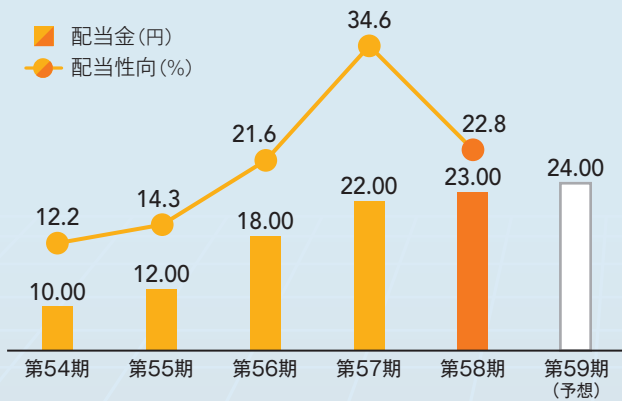
『2017森林・林業・環境機械展示実演会』に出展

11月19・20日の2日間、香川県坂出市『番の州臨海工業団地』において開催された『2017森林・林業・環境機械展示実演会』に、当社も出展いたしました。今年は一員となった「南星機械グループ」と初の共同ブース開催ということもあり、東京ドームのグラウンド約3分の1にあたる敷地(約4,000㎡)を確保してデモンストレーションを行ったところ、伐採から集材加工まで一気に対応できる様子に、大変好評を頂きました。会場ご来場者数約15,000人のうち、当社ブースには2,500人以上のお客様にお越し頂きました。今後も日本の林業活性化のため、グループ一丸となって努力してまいります。



株主還元

配当金・配当性向の推移



株主優待制度

権利確定日	保有株式数	内容
平成30年 3月31日	100株以上	クオ・カード1,000円分
	200株以上	クオ・カード2,000円分
	500株以上	クオ・カード3,000円分

配当性向30%・DOE3%に向けて増配を目指してまいります。

会社の概要 (平成29年9月30日現在)

商号 オカダアイオン株式会社
OKADA AIYON CORPORATION
本社 〒552-0022
大阪市港区海岸通四丁目1番18号
TEL. 06-6576-1281
設立年月日 昭和35年9月1日
資本金 1,473百万円
従業員数 184名

主要な事業内容

- ▶ 油圧ブレーカ TOPシリーズ、TOPVシリーズ、超低騒音Sシリーズ
- ▶ 圧碎機 TS-WBクラッシャー、TSRCクラッシャー、TS-Wカッター、TS-Sカッター、カトクンコワリケン、マグネットコワリケン
- ▶ 環境関連機器 ビッグバス、ログバスター、タブグラインダー、ウッドホグ、トロンメルスクリーン、サイレントアマダス、アイオン与作プラント関連機器

主要な営業所

東京本店・関西支店・札幌営業所・盛岡営業所
仙台営業所・横浜営業所・中部営業所・北陸営業所
広島営業所・四国営業所・九州営業所・東京オフィス
海外事業所

子会社

株式会社アイオンテック
Okada America, Inc.

役員 (平成29年9月30日現在)

代表取締役社長	苅田俊幸
取締役	折尾卓児
取締役	折尾耕二
取締役	岡田祐司
取締役	前田信男
取締役	山口和浩
取締役	川島政浩
取締役	岡本富男
取締役	古田均生
常勤監査役	打田幸生
監査役	稲田正毅
監査役	中尾正孝

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
剰余金の配当 毎年3月31日
(当社は中間配当制度を採用しておりません。)
上記のほか必要と認めるときは、あらかじめ
公告いたします。

単元株式数 100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
事務取扱場所 (郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル)
インターネット <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
ホームページURL
公告の方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
アドレスは、<http://www.aiyon.co.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

大株主 [上位10名] (平成29年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	509	7.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	416	6.02
岡田勝彦	369	5.33
岡田眞一郎	348	5.02
極東開発工業株式会社	300	4.33
株式会社三井住友銀行	242	3.51
株式会社三菱東京UFJ銀行	220	3.18
株式会社テイサク	185	2.67
株式会社池崎鉄工所	180	2.60
萱岡和夫	174	2.52

(注)持株比率は、自己株式(299,769株)を控除して計算しております。